



2026年10月期 第3四半期決算説明資料

(2025年11月-2026年7月)

2026年9月

巴工業株式会社

(証券コード：6309)



ページ	目 次	概要
3	2026年10月期 3Q決算概要説明	- 売上高は、化学品事業の販売が堅調に推移したことにより前年同期を上回る - 利益面は、人件費の増加および機械事業の減収により営業利益、経常利益ともに前年同期を若干下回るものの、特別利益の増加により当期純利益は前年同期を上回る
11	2026年10月期 通期業績見通し	- 業績見通しに変更はなく、全体および両事業それぞれで売上高、利益共に過去最高の更新を見込む 4Qは、化学品事業は工業材料関連を中心とした好調を維持、機械事業は機械、部品修理の伸長を見込む



2026年10月期 第3四半期決算概要説明

2026年10月期 第3四半期決算



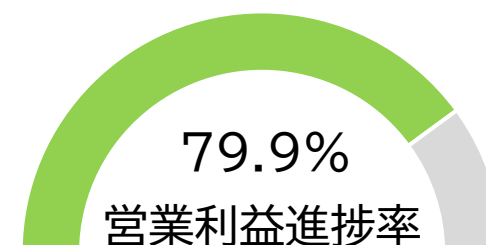
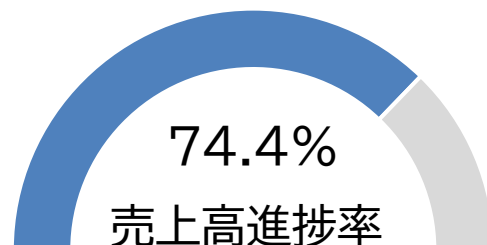
- 売上高は、化学工業製品販売事業が堅調だったことから前年同期比0.9%増
- 営業利益は、人件費を中心とした販管費の増加と機械製造販売事業の減収により前年同期比1.9%減となるも概ね想定通りの進捗

※当期純利益の増加は、中国子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益ならびに政策保有株式の売却益計上による

※中東情勢による影響は現時点では軽微

(単位:百万円)

	25/07	26/07	前年対比	
	実績	実績	増減	前年比(%)
売上高	46,406	46,805	+399	+0.9
営業利益	4,806	4,713	▲93	▲1.9
経常利益	4,854	4,841	▲12	▲0.3
当期純利益	3,358	3,524	+166	+5.0



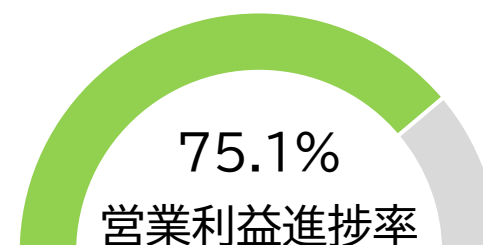
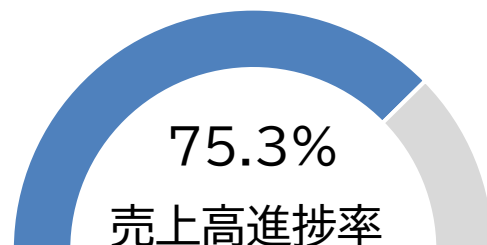
2026年10月期 第3四半期決算 -化学工業製品販売事業-



- 売上高は、鉱産関連の樹脂向け添加剤の減収を、工業材料関連を中心とした増収が補ったことにより前年同期比1.8%増となり、想定をやや上回る進捗
- 営業利益は、堅調な販売が販管費の伸びを吸収したことから前年同期比3.8%増となり、想定をやや上回る進捗

(単位:百万円)

	25/07		26/07		
	金 額	利益率 (%)	金 額	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	34,230	-	34,844	+1.8	-
売上総利益	6,966	20.4	7,323	+5.1	21.0
営業利益	2,808	8.2	2,914	+3.8	8.4



2026年10月期 第3四半期決算 -化学工業製品販売事業-



(単位:百万円)

	25/07	26/07	差 異	主な増減要因
化成品関連	8,028	8,945	+917	コーティング用途向けが好調なことに加え、電子部品・半導体用途も販売増
鉬産関連	11,288	8,908	▲2,379	アンチモン相場下落、競合他社の供給量回復により樹脂向け添加剤(三酸化アンチモン)が減収
工業材料関連	4,883	5,886	+1,003	建材・耐火物向け材料の販売増
機能材料関連	3,967	4,434	+467	半導体製造用途向け材料等の販売増
電子材料関連	3,299	3,617	+318	半導体組立用途向け材料の販売増
合成樹脂関連	2,756	2,896	+139	輸入樹脂の販売増、価格上昇
その他	6	154	+147	低温廃熱活用関連「熱交換器」の販売実現 ※3/17付リリースご参照
合 計	34,230	34,844	+614	

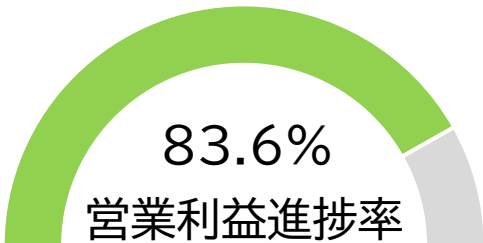
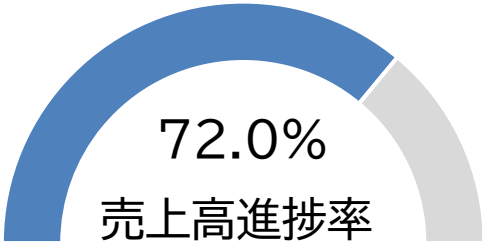
2026年10月期 第3四半期決算 -機械製造販売事業-



- 売上高は、民需向け装置・工事および部品・修理ならびに海外向け機械および装置・工事販売が低調だったことから前年同期比1.8%減となるも、概ね想定通りの進捗
- 営業利益は、減収の影響および人件費を中心とした販管費の増加により前年同期比10.0%減となり、想定をやや下回る進捗

(単位:百万円)

	25/07		26/07		
	金 額	利益率 (%)	金 額	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	12,175	-	11,960	▲1.8	-
売上総利益	4,986	41.0	4,931	▲1.1	41.2
営業利益	1,997	16.4	1,798	▲10.0	15.0



2026年10月期 第3四半期決算 -機械製造販売事業-



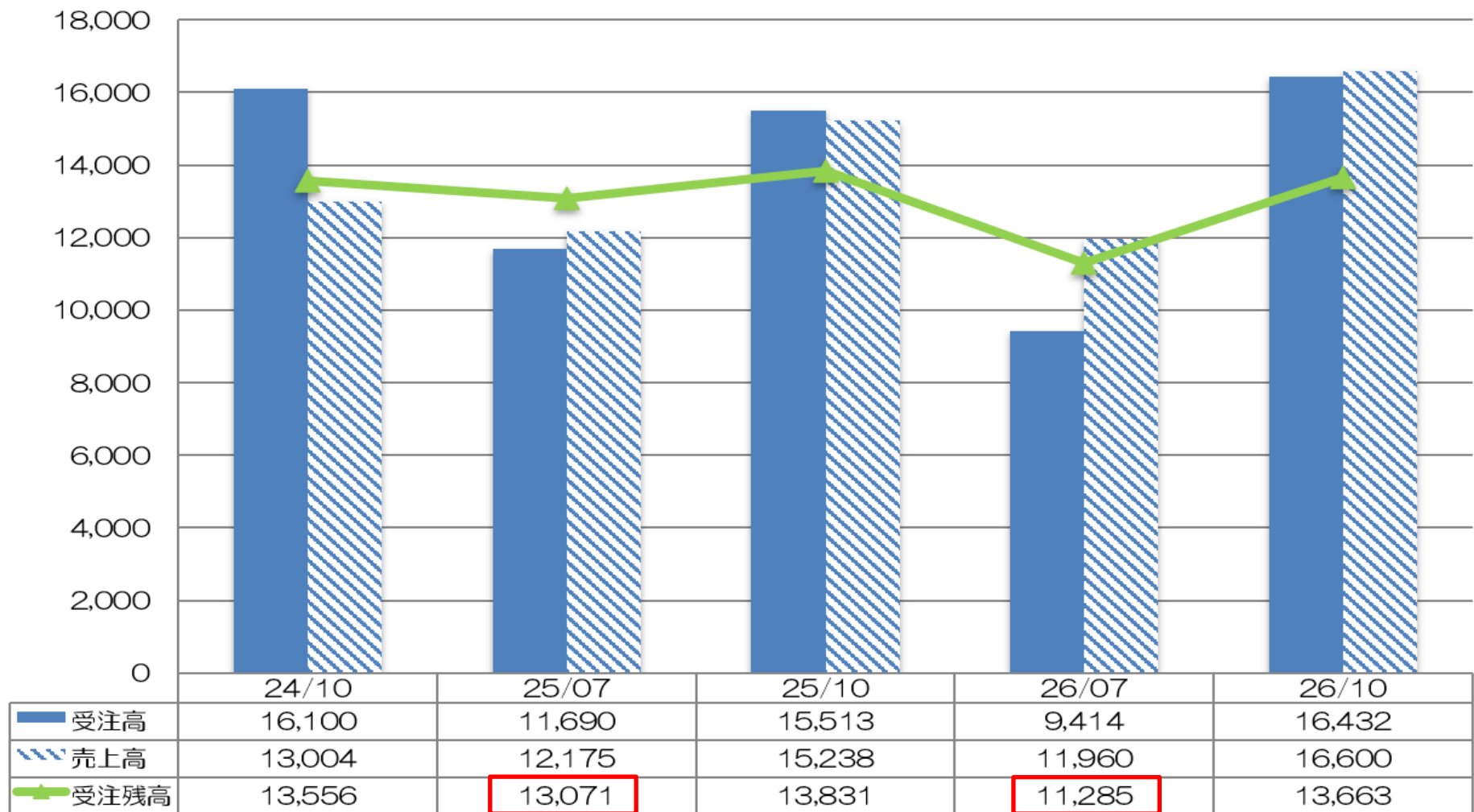
(単位:百万円)

	品目区分	機 械	装置/工事	部品/修理	合 計	主な増減要因
官 需	25/07	614	1,053	2,825	4,493	
	26/07	729	1,156	3,270	5,156	・東京、大阪をはじめとした大都市圏での大型機械、元請工事、修理の好調により増収
	差異	+114	+103	+444	+662	
民 需	25/07	1,100	623	2,323	4,047	
	26/07	1,379	73	1,832	3,285	・装置工事、部品修理は、前期に大型案件があったことによる反動減 ※部品修理は4Qに伸長し、通期では前期と同水準になる見込み
	差異	+279	▲550	▲491	▲762	
海 外	25/07	1,183	269	2,181	3,634	
	26/07	935	0	2,581	3,517	・機械、装置工事は、前期に半導体向けの大型案件があったことによる反動減 ※機械は4Qに伸長し、通期では前期を上回る見込み ・部品/修理はインド、東南アジア、中国向けが好調
	差異	▲247	▲269	+400	▲116	
合 計	25/07	2,898	1,946	7,330	12,175	
	26/07	3,045	1,230	7,684	11,960	
	差異	+146	▲715	+354	▲215	

2026年10月期 第3四半期受注残 -機械製造販売事業-



- 受注残は前年同期比で減少しているものの、4Qに海外、官需で大型案件の受注を見込むこと等から、期末時点では過去最高水準となる見通し



3Q

3Q

(単位:百万円)



2026年10月期 通期業績見通し

2026年10月期 通期業績見通し

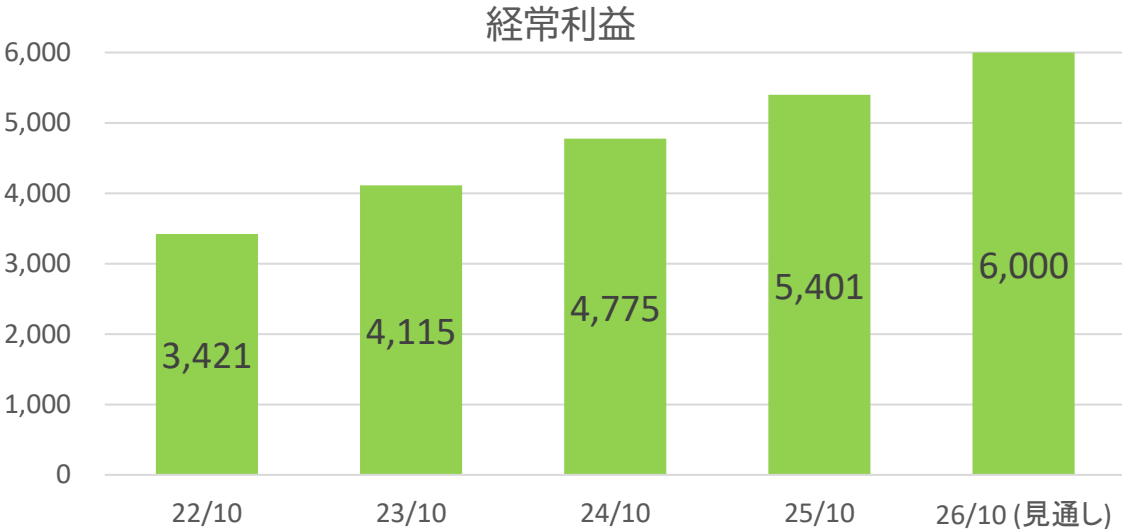
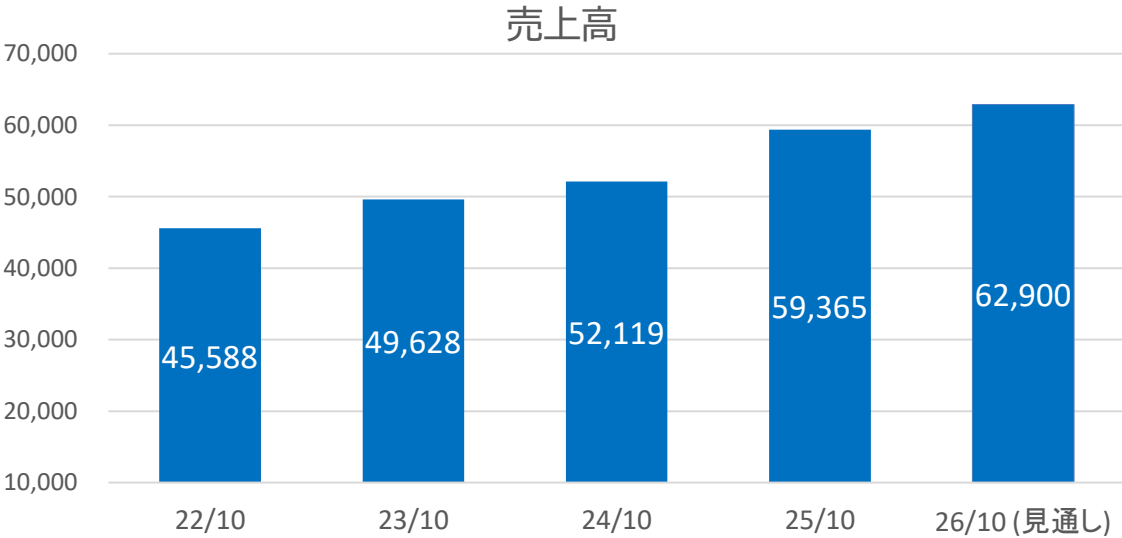
再掲



- 業績見通しに変更はなく、売上、各利益いずれも過去最高の更新を見込む

(単位:百万円)

	25/10	26/10			前年対比	
	実績	上期実績	下期見通し	通期見通し	増 減	前年比 (%)
売上高	59,365	30,849	32,051	62,900	+3,534	+6.0
営業利益	5,352	3,703	2,197	5,900	+547	+10.2
経常利益	5,401	3,794	2,206	6,000	+598	+11.1
当期純利益	3,851	2,793	1,607	4,400	+548	+14.2



2026年10月期 通期業績見通し -化学工業製品販売事業-

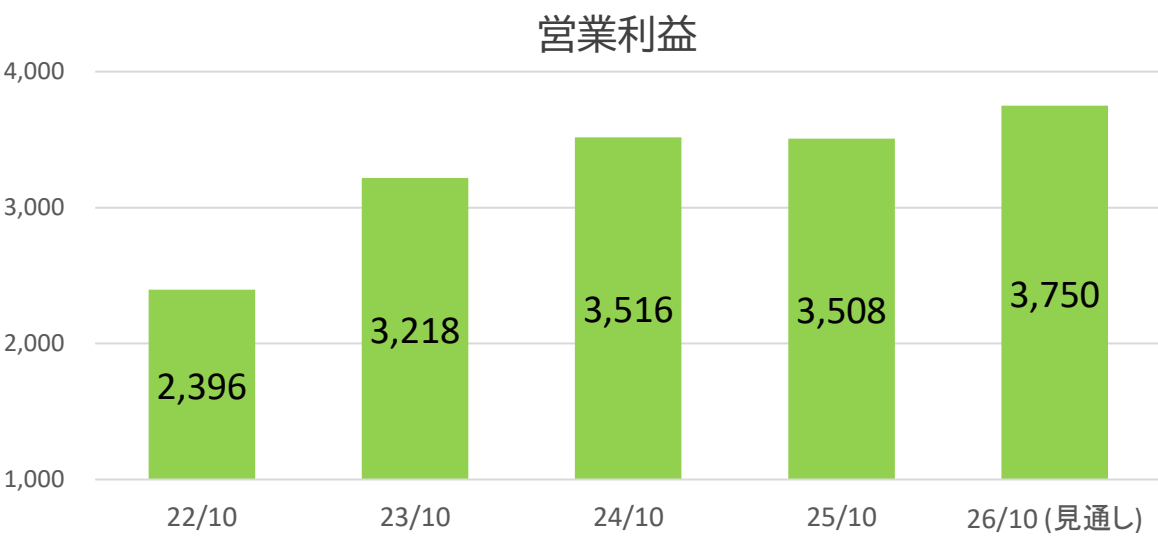
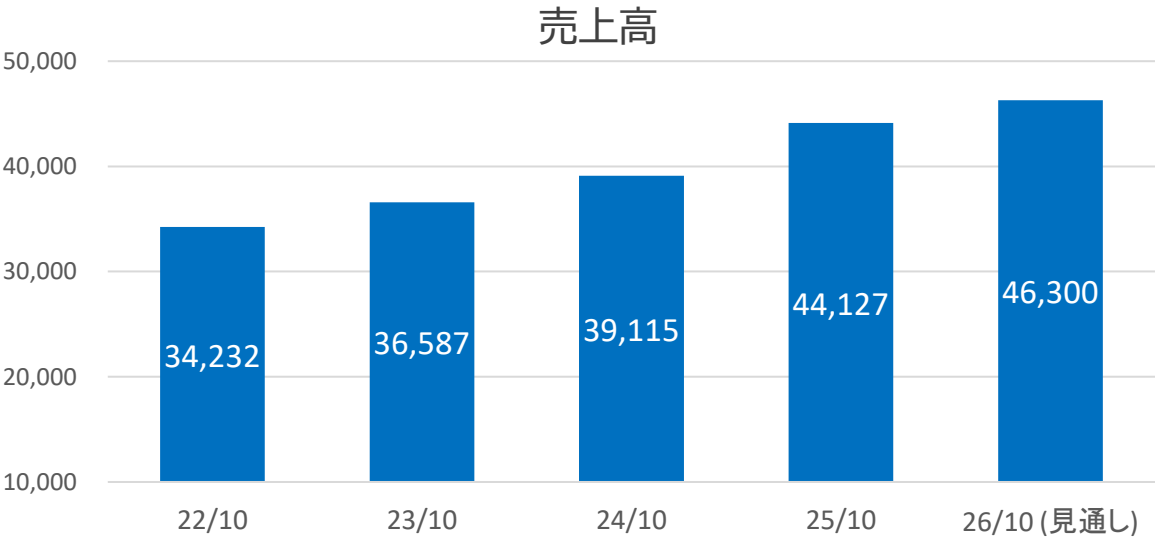
再掲



- 4Qも引き続き工業材料関連を中心とした伸長を見込むことから、売上高、営業利益ともに前年度を上回り、過去最高の更新を見込む

(単位:百万円)

	25/10		26/10				
	実績	利益率 (%)	上期実績	下期見通し	通期見通し	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	44,127	-	22,008	24,291	46,300	+4.9	-
売上総利益	9,122	20.7	4,728	5,021	9,750	+6.9	21.1
営業利益	3,508	8.0	1,829	1,920	3,750	+6.9	8.1



2026年10月期 通期業績見通し -機械製造販売事業-

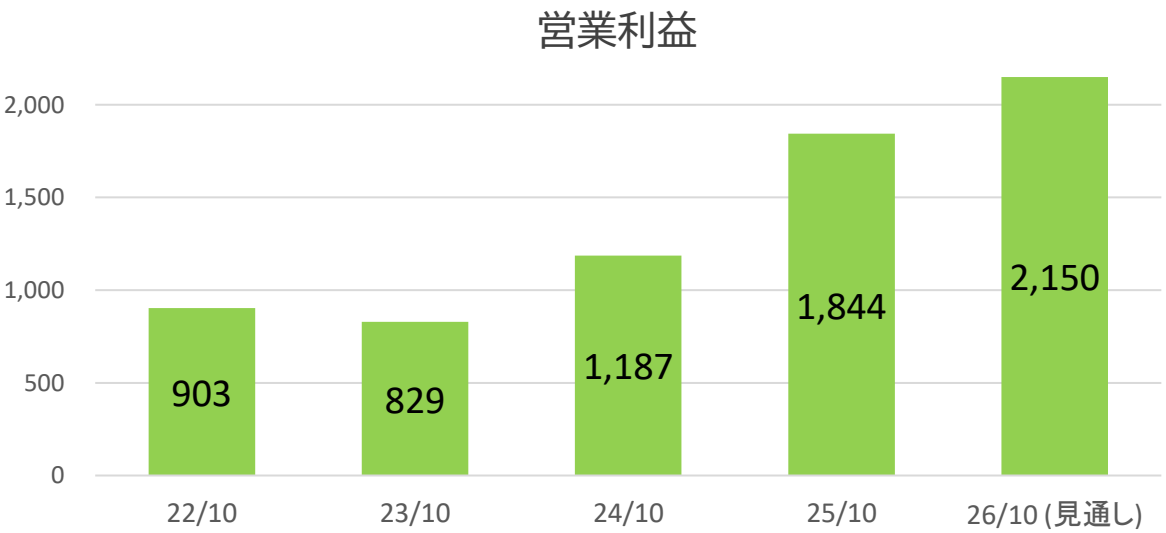
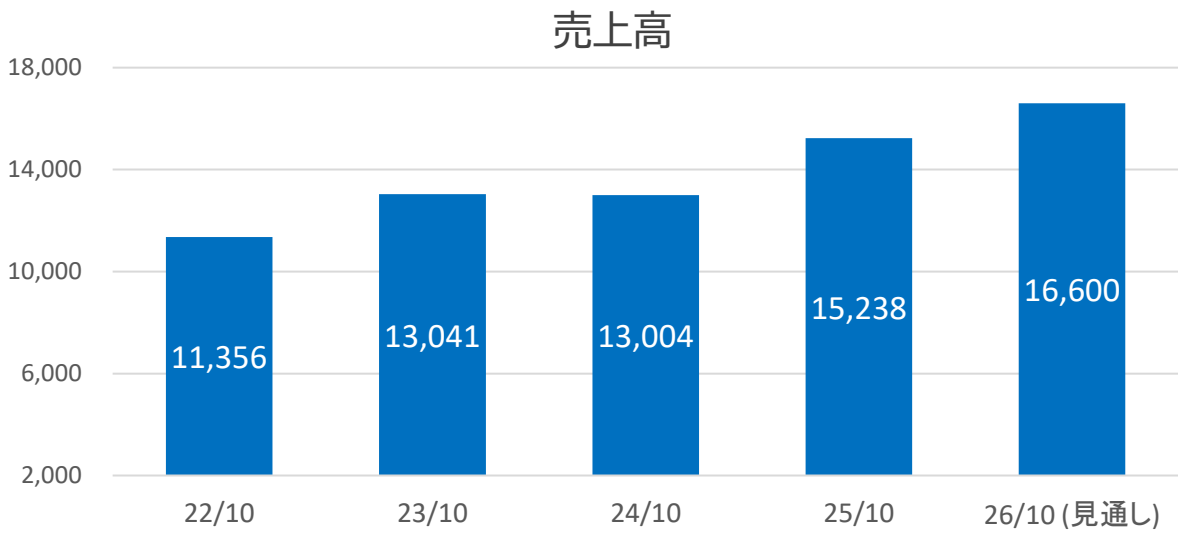
再掲



- 4Qに民需および海外向けの機械および部品修理の伸長を見込むことから、売上高、営業利益ともに前年度を上回り、過去最高の更新を見込む

(単位:百万円)

	25/10		26/10				
	金 額	利益率 (%)	上期実績	下期見通し	通期見通し	前年比 (%)	利益率 (%)
売上高	15,238	-	8,840	7,759	16,600	+8.9	-
売上総利益	5,865	38.5	3,921	2,668	6,590	+12.4	39.7
営業利益	1,844	12.1	1,873	276	2,150	+16.6	13.0





<注意事項>

本資料に掲載されている業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は様々なリスクや不確定な要素などの要因により異なる可能性があります。

IRに関するお問い合わせ
巴工業株式会社
経営企画部 IR・企画課
E-mail : ir-info@tomo-e.co.jp